

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月27日更新

事務事業名		農商工連携推進事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	6	産業の健幸	所属部	産業振興部	課長名	衛藤 和博
	施策	23	農業の振興	所属課	商工振興課	担当者名	高木 宏亮
	業務分野	69	関係機関との連携の強化	所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
		一般	7	1	1	11580	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	<p>本市の基幹産業である農業において、単に農産物を生産するだけでなく、第2次産業・第3次産業(加工・販売など)との連携・融合によって、農産物の高付加価値化や販路開拓・拡大など、地域農業を軸とした新たな地域ビジネスの創出及び活性化を目指す。</p> <p>具体的には、太陽光発電による売電収益の一部を地域に還元する『合志農業活力プロジェクト』、地域特産品である西瓜のブランディング、機能性に着目した新商品開発を行う『特産品開発』、包括連携協定先の熊本大学及び熊本県立大学との『産学官連携による特産品開発』、農業の振興・発展を軸とした地域経済活性化及び新たな技術・産業の創出・集積を推進する『クマモト未来型農産業コンソーシアム推進協議会』の関係機関と連携を図りながら、事業を進めている。</p> <p>また、令和4~6年度にかけて地方創生推進交付金事業「『健幸都市こうし』デジタルキッチンプロジェクト」の取り組みとして、㈱フードラボ合志に業務委託し、①キッチンカーによる創業者支援、②市内及び首都圏マルシェイベントの企画・運営、③郊外の買い物困窮者支援を目的とした移動販売の実施、④情報発信のプラットフォームとなるWEBサイトの構築・運営を行い、市の魅力ある「食」を広く周知した。</p> <p>※11461熊本県物産振興協会参画事業を統合(R7より)。</p>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 本市をフィールドとした共同研究の支援 商品開発等の事業化推進及び支援
【主な予算費目】	職員手当、旅費、補助金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

地方創生推進交付金事業「『健幸都市こうし』デジタルキッチンプロジェクト」の取り組みとして、㈱フードラボ合志に業務委託し、①キッチンカーによる創業者支援(15件)、②市内及び首都圏マルシェイベントの企画・運営(延べ来場者23,110人)、③郊外の買い物困窮者支援を目的とした移動販売の実施(延べ2,490人)、④情報発信のプラットフォームとなるWEBサイトの構築・運営を行い、市の魅力ある「食」を広く周知した。また、ブランド推進協議会を開催し、ブランド認証品の更新を行い(6件)、六次産業化等に取り組む事業者に補助金を交付(1件)し、新商品の開発につなげた。また、地域活性化起業家の派遣受け入れと地域おこし協力隊の起用を行い、デジタルキッチンプロジェクトの運営管理及び合志市の食材を使った新商品の開発に取り組んだ。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

- 関係者との連携強化を目的とした会議・協議等
- 六次産業化・農商工連携新商品開発等の事業化支援
- 地域ブランド推進協議会による市の特産品ブランド化
- 熊本県物産振興協会等との連携による物産販路の強化
- 地域おこし協力隊「デジタルキッチンプランナー」と連携した取り組み

③予算の主な増減の理由

「健幸都市こうし」デジタルキッチンプロジェクト業務の終了に伴う委託料の減

成果指標

ア	耕地面積当たりの農業産出額	(単位)	データ取得方法
		百万円/ha	農業産出額(前年推計)÷耕地面積(前年)
イ	クラッシュノ年間売上額	百万円	

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	百万円/ha	4.57	4.68	4.5	5.12	4.5	4.6	4.7	0
イ	百万円	575	553	650	513	700	700	750	0
事業費	国庫支出金	千円	10,659	19,998	13,200	13,200			
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	7,000						
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	17,743	31,239	22,406	22,114	4,091	1,743	1,743
(A) 事業費計	千円	35,402	51,237	35,606	35,314	4,091	1,743	1,743	1,743

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

関係機関との事業化に向けた共同研究等の件数は、横ばいであり、新たな連携事例を構築していく必要がある。農業者等に対する商品開発支援については、新規商品化及び販路開拓など事業成果が見え始めた。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)